





# 決算説明会

2020年 3月期  
通期業績

2020年5月12日  
ローム株式会社  
代表取締役社長 松本 功

## ■ 2020年3月期 業績報告

2020年3月期 業績報告

売上の変動要因

営業利益の増減分析

市場別売上推移

## ■ 設備投資の状況

## ■ 在庫の状況

## ■ 株主還元

## ■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響

## ■ ロームの戦略

# 2020年3月期 通期実績 業績報告 (前年比)



(単位：億円)

	'20/3期 実績	'19/3期 実績	増減額	前年比
売上高	3,628	3,989	▲361	▲9.0%
営業利益	294	559	▲264	▲47.3%
(対売上比率)	( 8.1%)	( 14.0%)	-	-
経常利益	357	646	▲289	▲44.7%
(対売上比率)	( 9.9%)	( 16.2%)	-	-
純利益	256	454	▲198	▲43.6%
(対売上比率)	( 7.1%)	( 11.4%)	-	-
EBITDA	738	1,013	▲275	▲27.1%
(対売上比率)	( 20.3%)	( 25.4%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (109.10円) (110.69円)

# 2020年3月期 通期実績 業績報告 (修正計画比)



(単位：億円)

	'20/3期 実績	'20/3期 修正計画	増減額	増減比率
売上高	3,628	3,650	▲21	▲0.6%
営業利益	294	270	+24	+9.2%
(対売上比率)	( 8.1%)	(7.4%)	-	-
経常利益	357	280	+77	+27.8%
(対売上比率)	( 9.9%)	(7.7%)	-	-
純利益	256	220	+36	+16.5%
(対売上比率)	( 7.1%)	(6.0%)	-	-
EBITDA	738	735	+3	+0.4%
(対売上比率)	( 20.3%)	(20.1%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (109.10円) (107.15円)

# 2020年3月期 通期 市場別 売上の変動要因 (前年比)



(単位：億円)

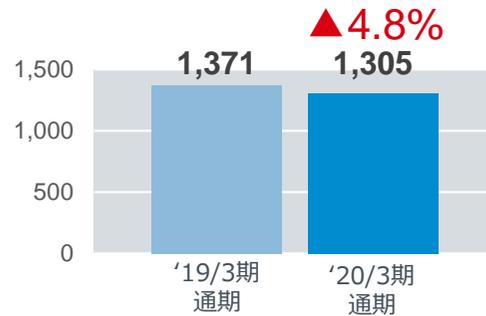
## 通期売上高

▲9.0%  
**3,989億円** 3,628億円

'19/3期通期  
実績

'20/3期通期  
実績

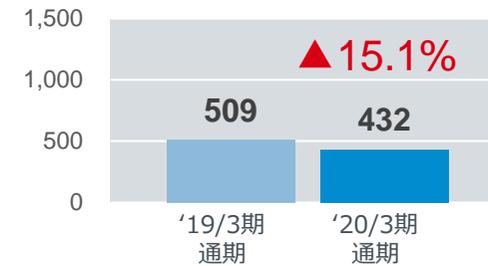
## 車載



- インフォテインメント分野 ▲70  
(オーディオ/ナビ/パネル) ▲82
- パワートレイン分野 +10
- ADAS分野 ▲4
- ボディ分野 ▲1



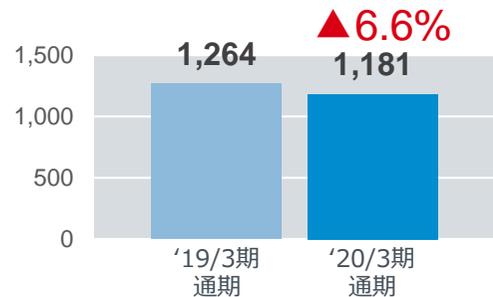
## 産機



- FA分野 ▲40
- エネルギー分野 ▲3
- インフラ分野 ▲6
- その他 ▲29



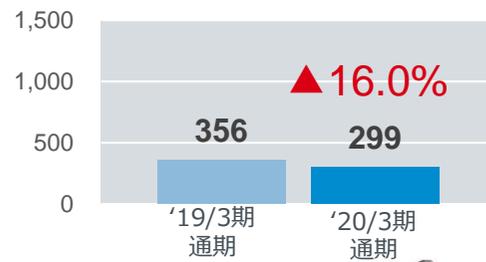
## 民生



- AV関連 ▲50
- 家電分野 ▲15
- アミューズ ▲15
- その他 ▲3



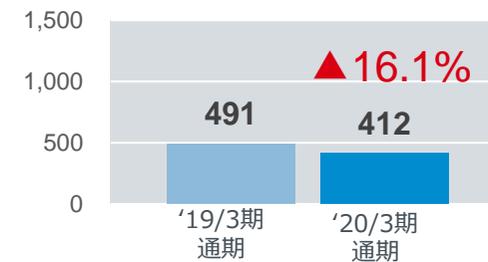
## 通信



- 通信分野全般 ▲57



## 事務機



- PC、OA機器分野 ▲67
- 決裁端末向け ▲12



# 2020年3月期 通期 市場別 売上の変動要因 (修正計画比)



(単位：億円)

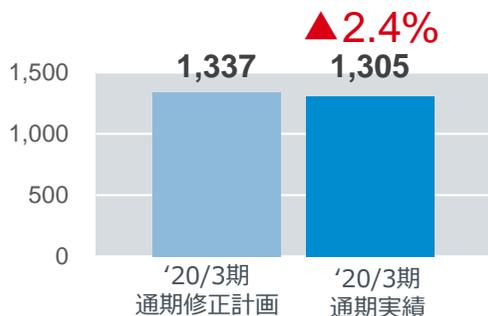
## 通期売上高

▲0.6%  
**3,650億円** **3,628億円**

'20/3期通期  
修正計画

'20/3期通期  
実績

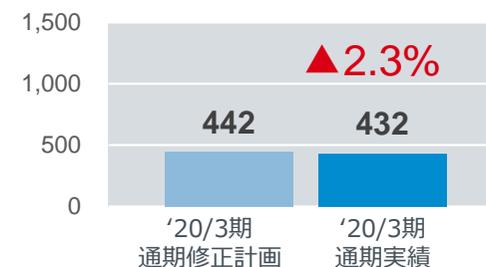
## 車載



- インフォテインメント分野 ▲9
- (オーディオ/ナビ/パネル) ▲7
- パワートレイン分野 ▲18
- ADAS分野 +1
- ボディ分野 ▲5



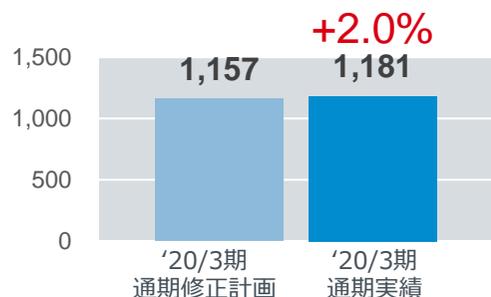
## 産機



- FA分野 ▲7
- エネルギー分野 ▲0
- インフラ分野 ▲1
- その他 ▲3



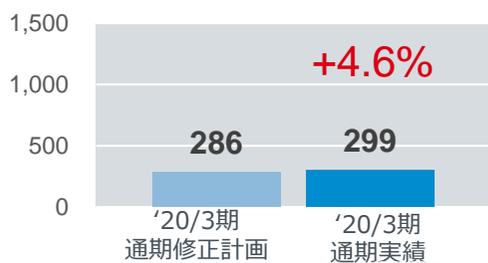
## 民生



- AV関連 ▲9
- 家電分野 +7
- アミューズ +20
- その他 +5



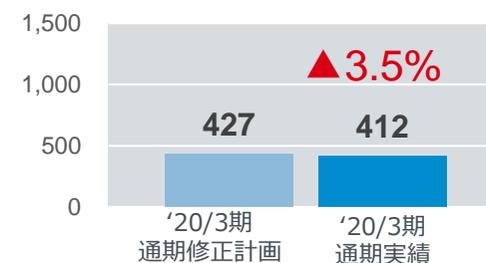
## 通信



- 通信分野全般 +13



## 事務機



- PC、OA機器分野 ▲11
- 決裁端末向け ▲4

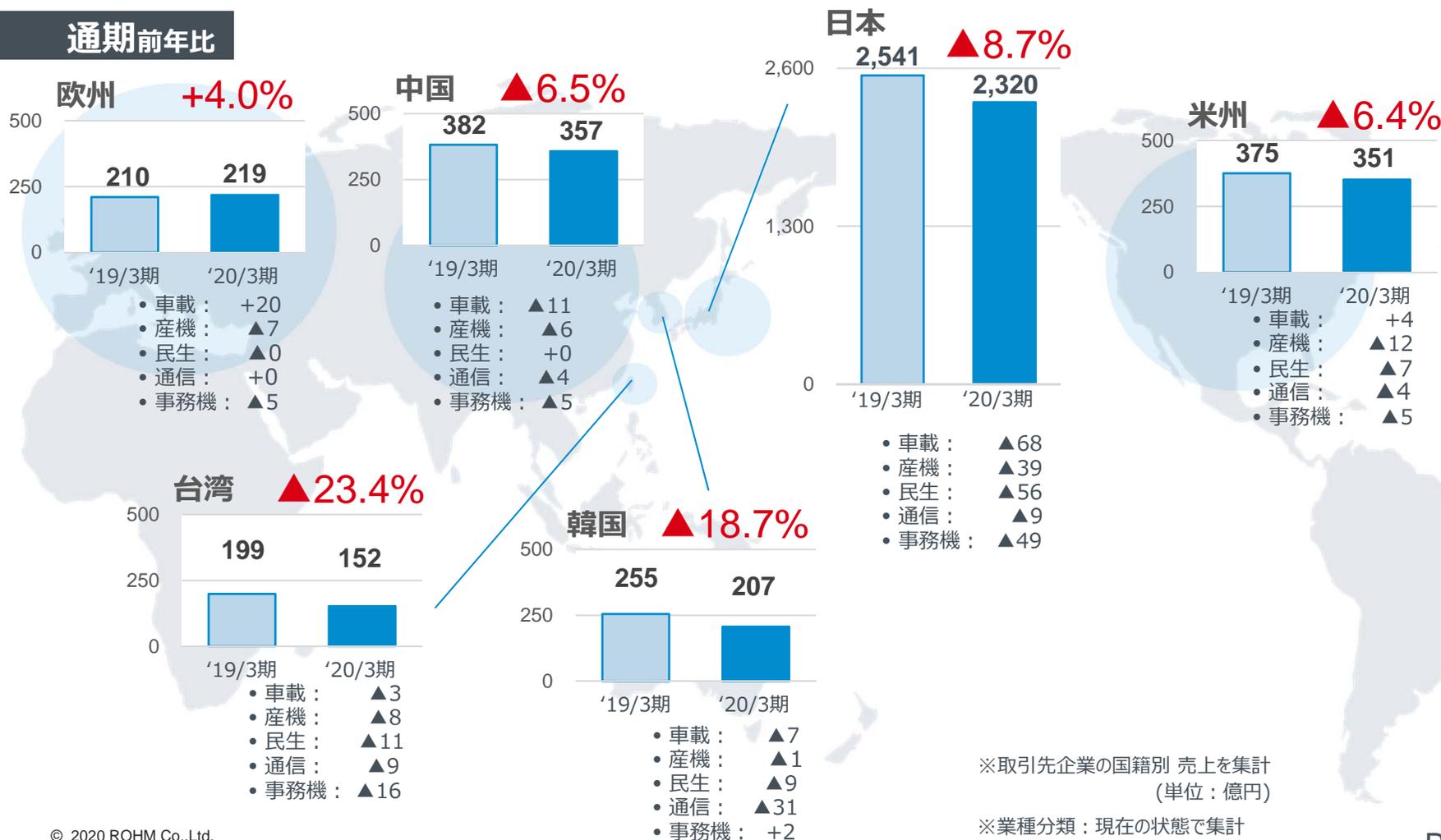


# 2020年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 (前年比)



通期売上高 **3,989億円** (‘19/3期通期実績) **3,628億円** (‘20/3期通期実績) **▲9.0%**

## 通期前年比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位：億円)

※業種分類：現在の状態で集計

# 2020年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 (修正計画比)



通期売上高

3,650億円

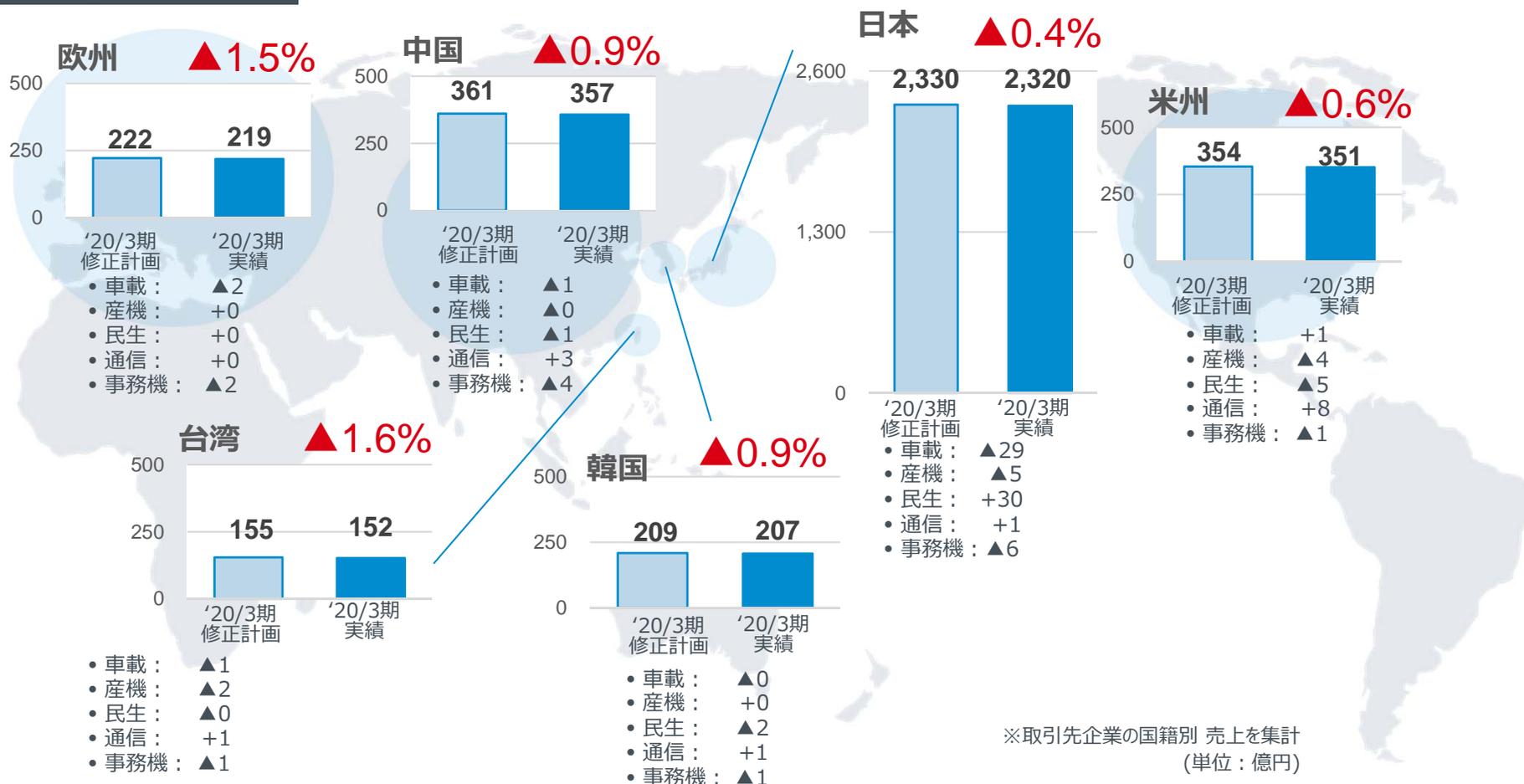
3,628億円

'20/3期通期修正計画

'20/3期通期実績

▲0.6%

## 通期修正計画比



※取引先企業の国籍別 売上を集計  
(単位: 億円)

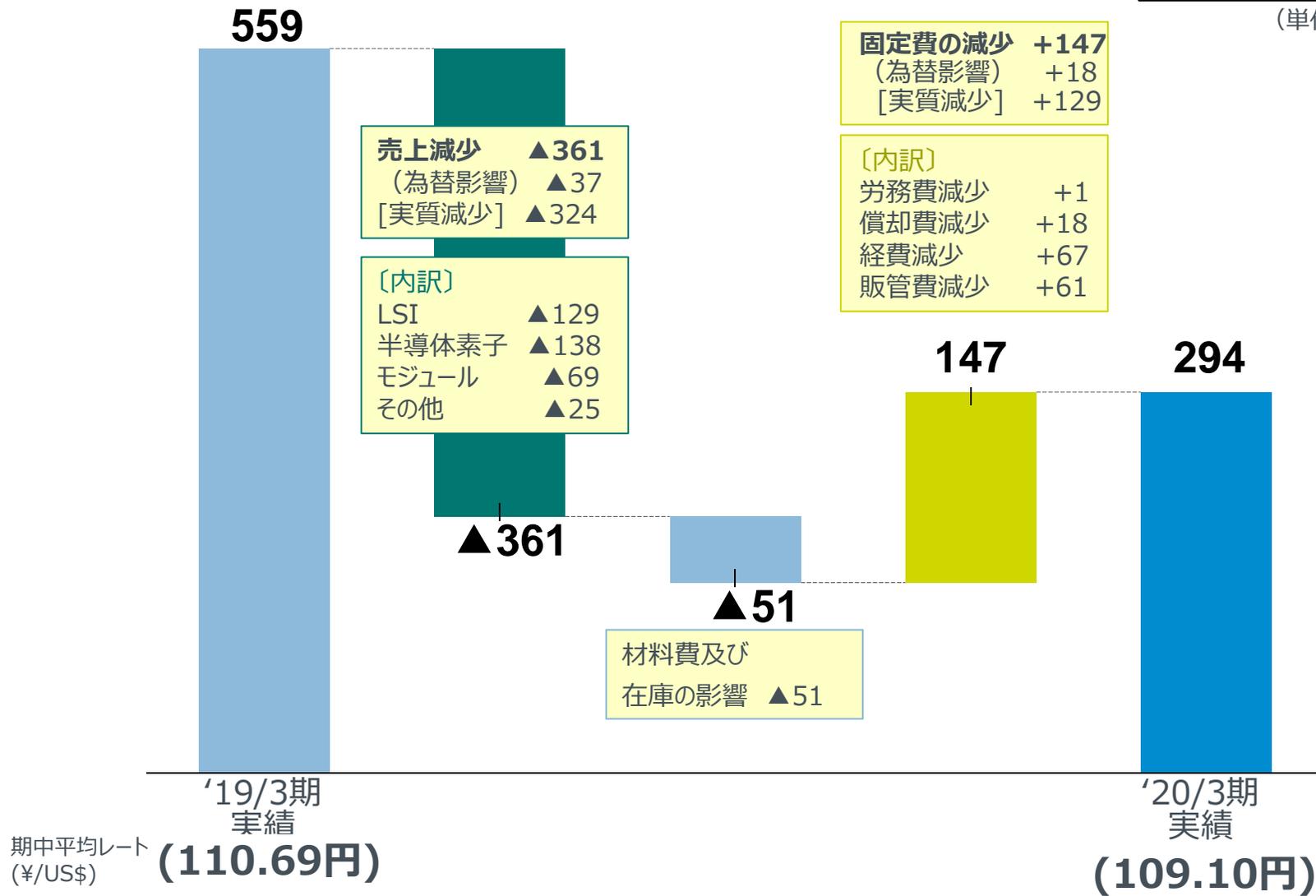
※業種分類: 現在の状態で集計

# 営業利益 増減分析 (前年比)



**265億円減益**

(単位：億円)

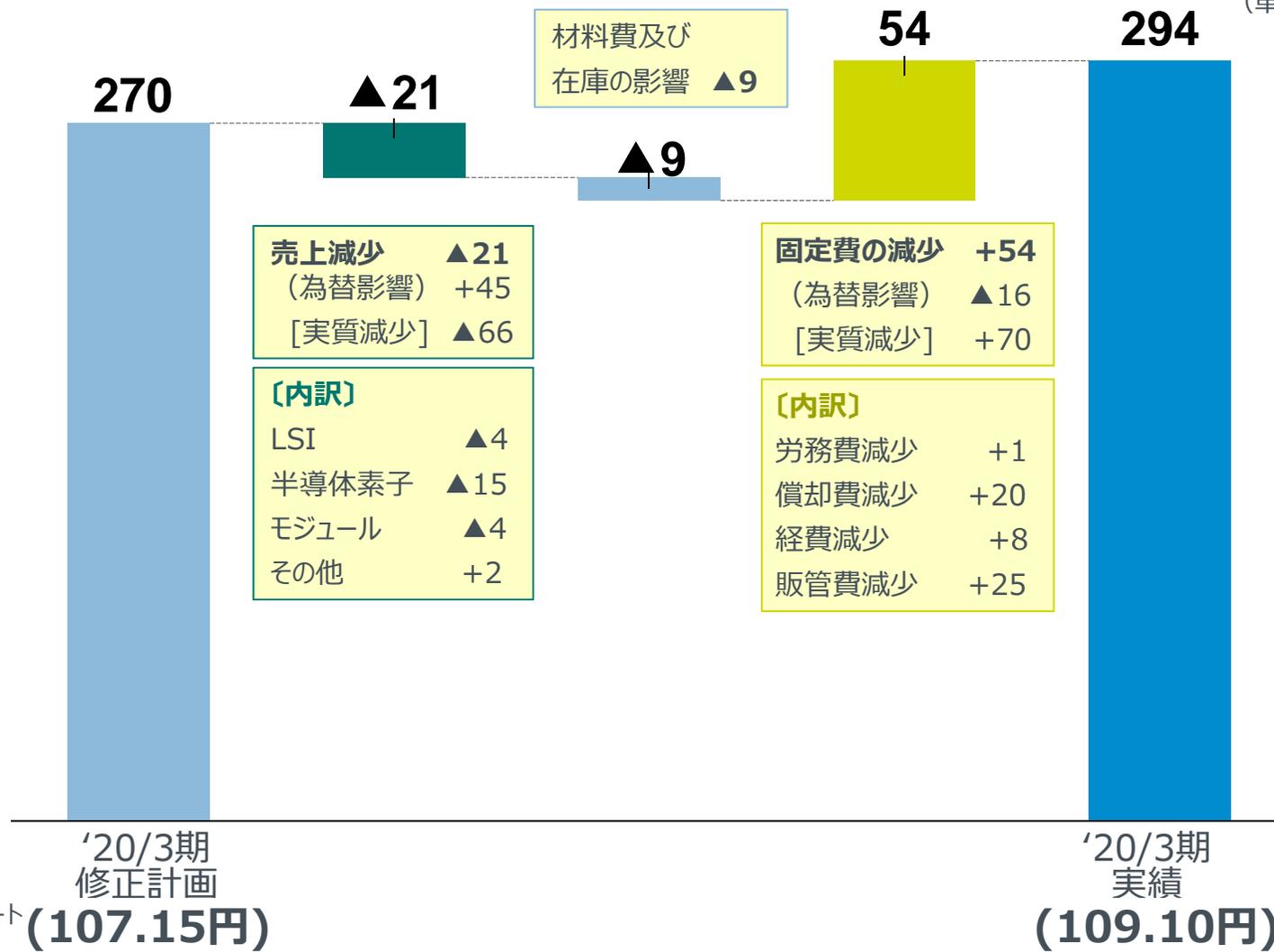


# 営業利益 増減分析 (修正計画比)



24億円増益

(単位：億円)



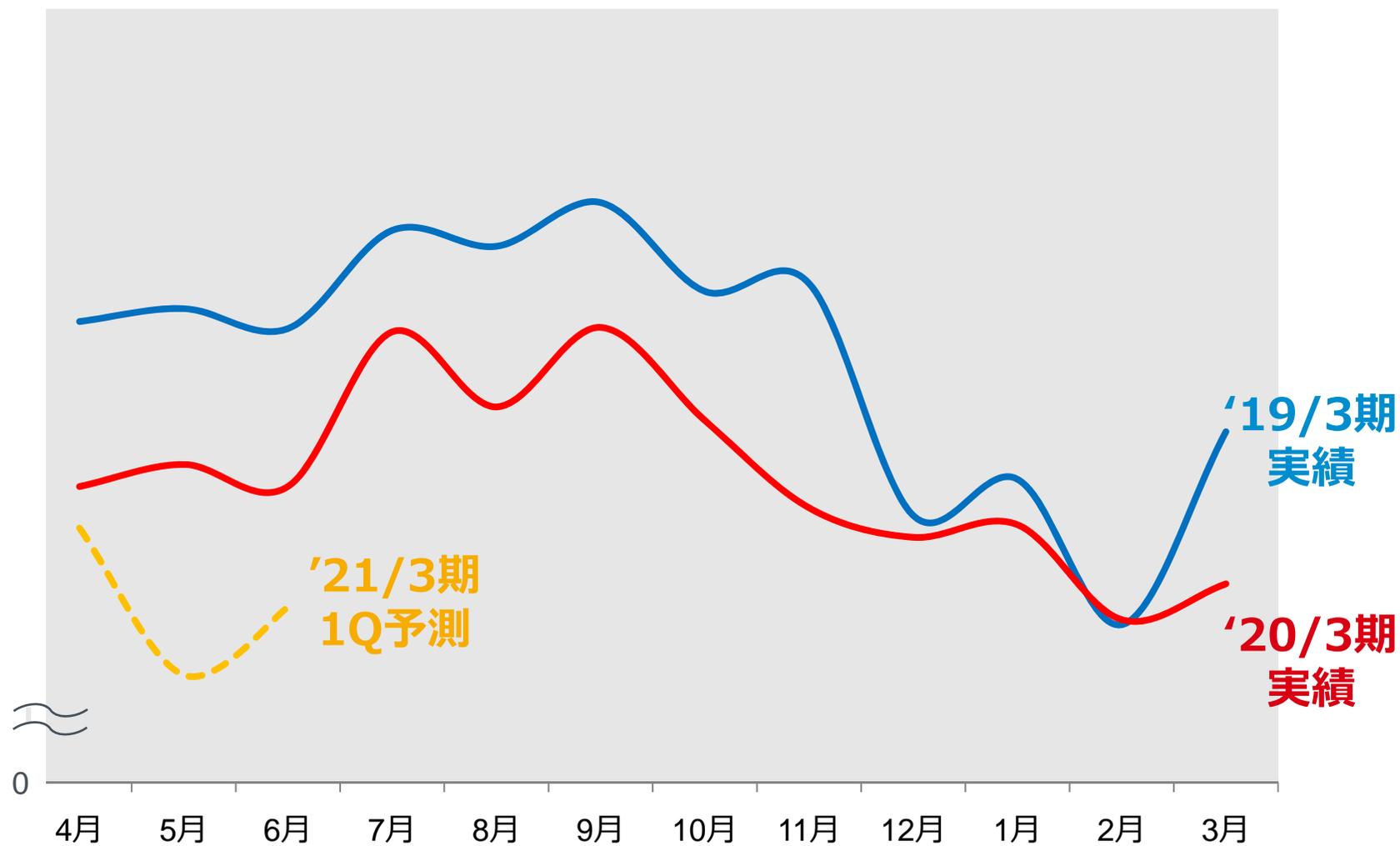
期中平均レート (¥/US\$) **(107.15円)**

**(109.10円)**

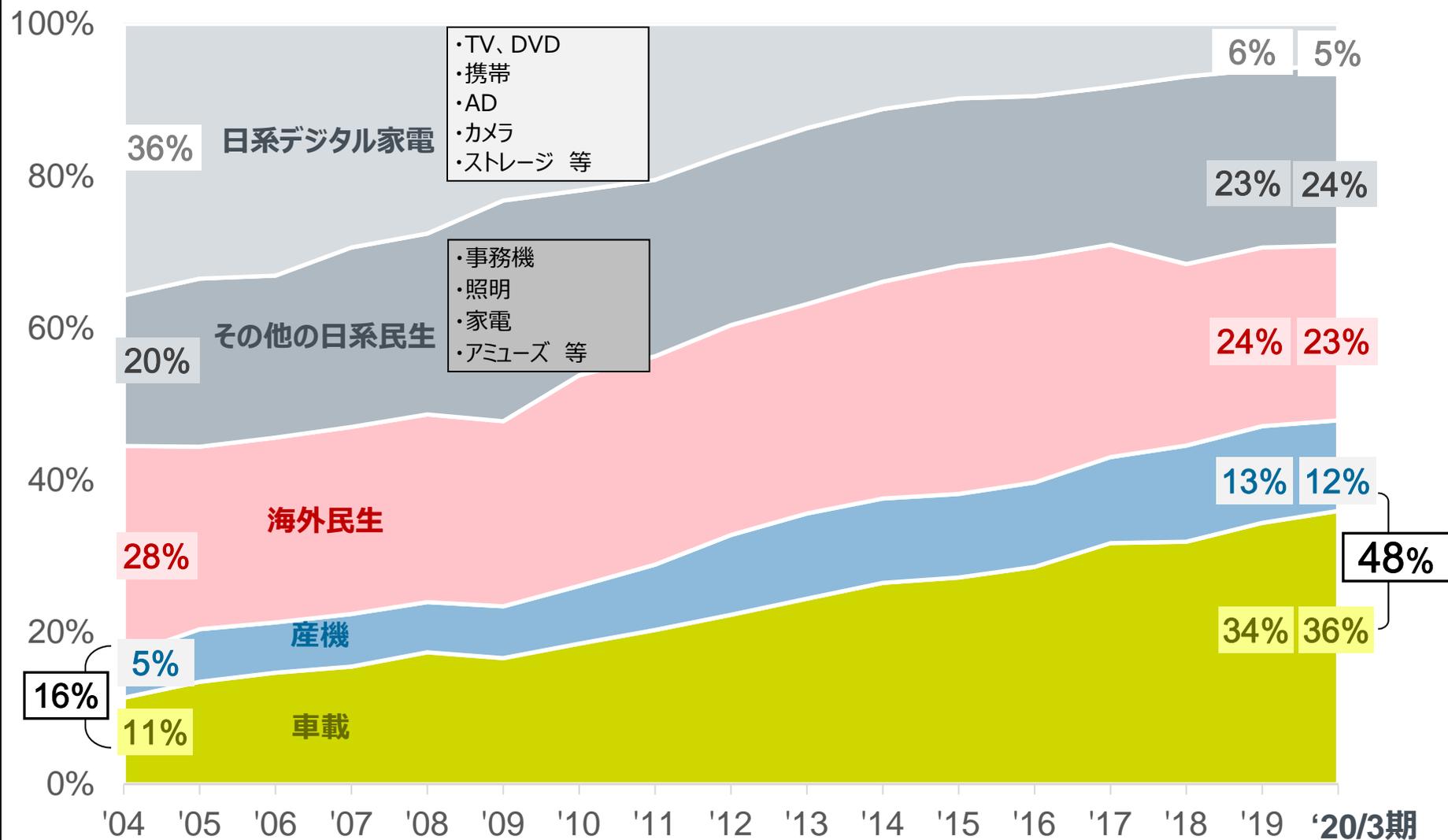
# 売上トレンド



※為替影響を除く



# 市場別売上構成比推移

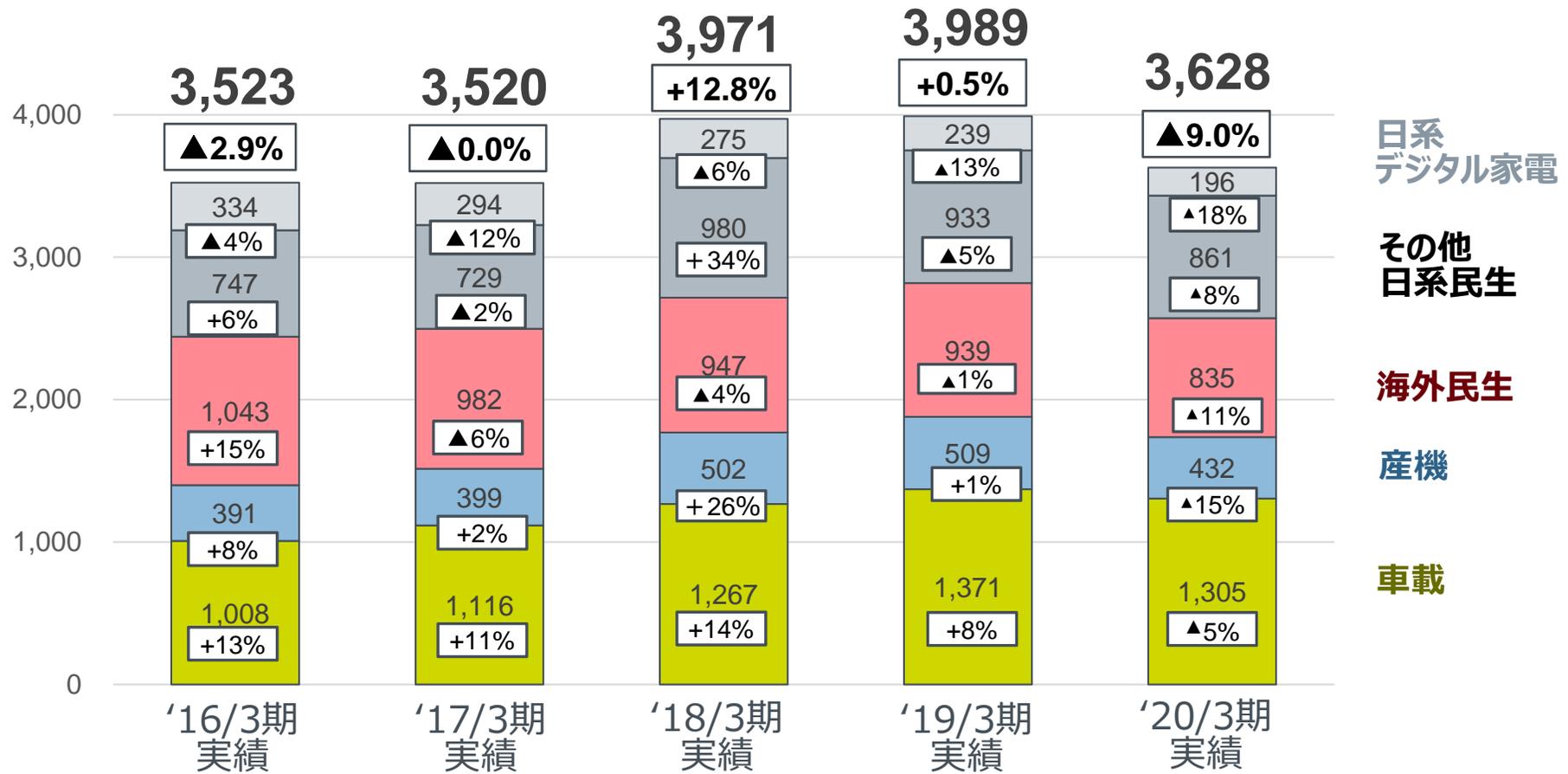


# 5年間の市場別売上推移



(億円)  
5,000

四角内は前年比



期中平均レート  
(¥/US\$)

(120.00円)

(109.03円)

(110.81円)

(110.69円)

(109.10円)

# 設備投資の状況

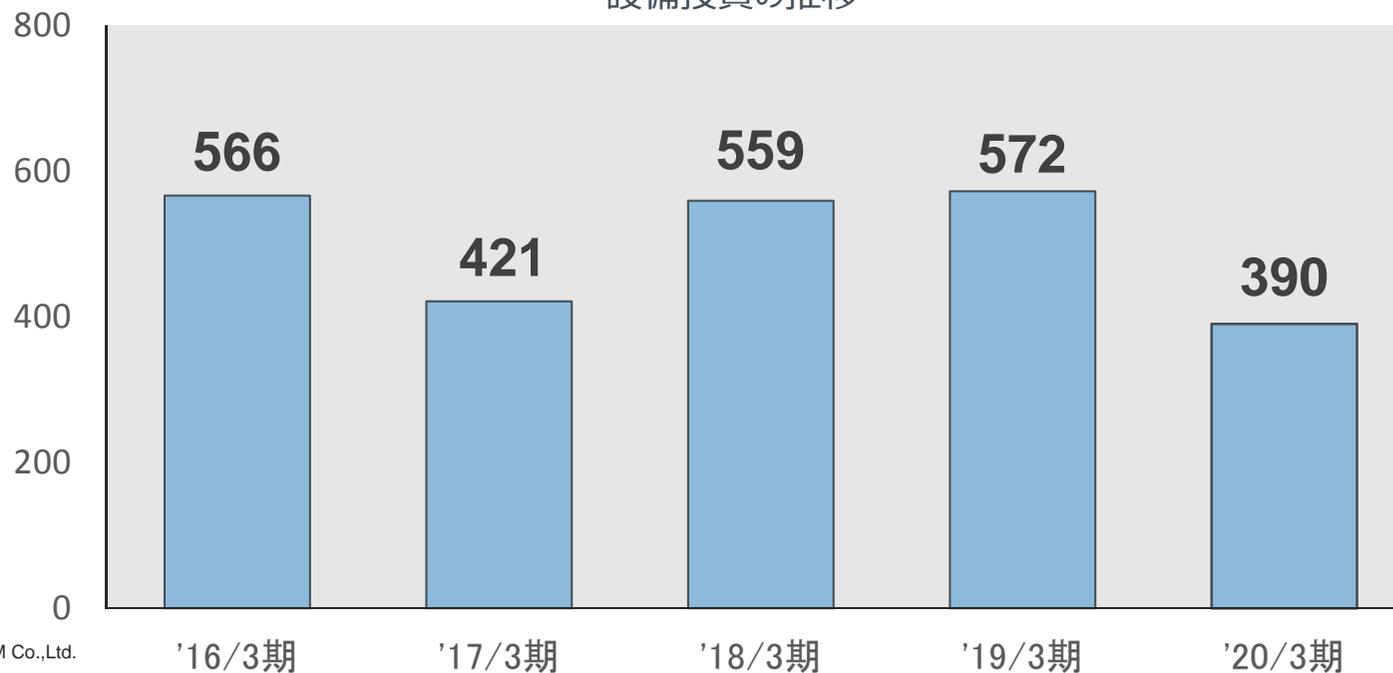


(単位：億円)

	合計	生産能力向上	土地・建物	品質向上	その他
'18/3期実績	559	372	45	35	107
'19/3期実績	572	285	122	33	138
'20/3期修正計画	500	219	97	44	140
'20/3期実績	390	171	85	25	109

(単位：億円)

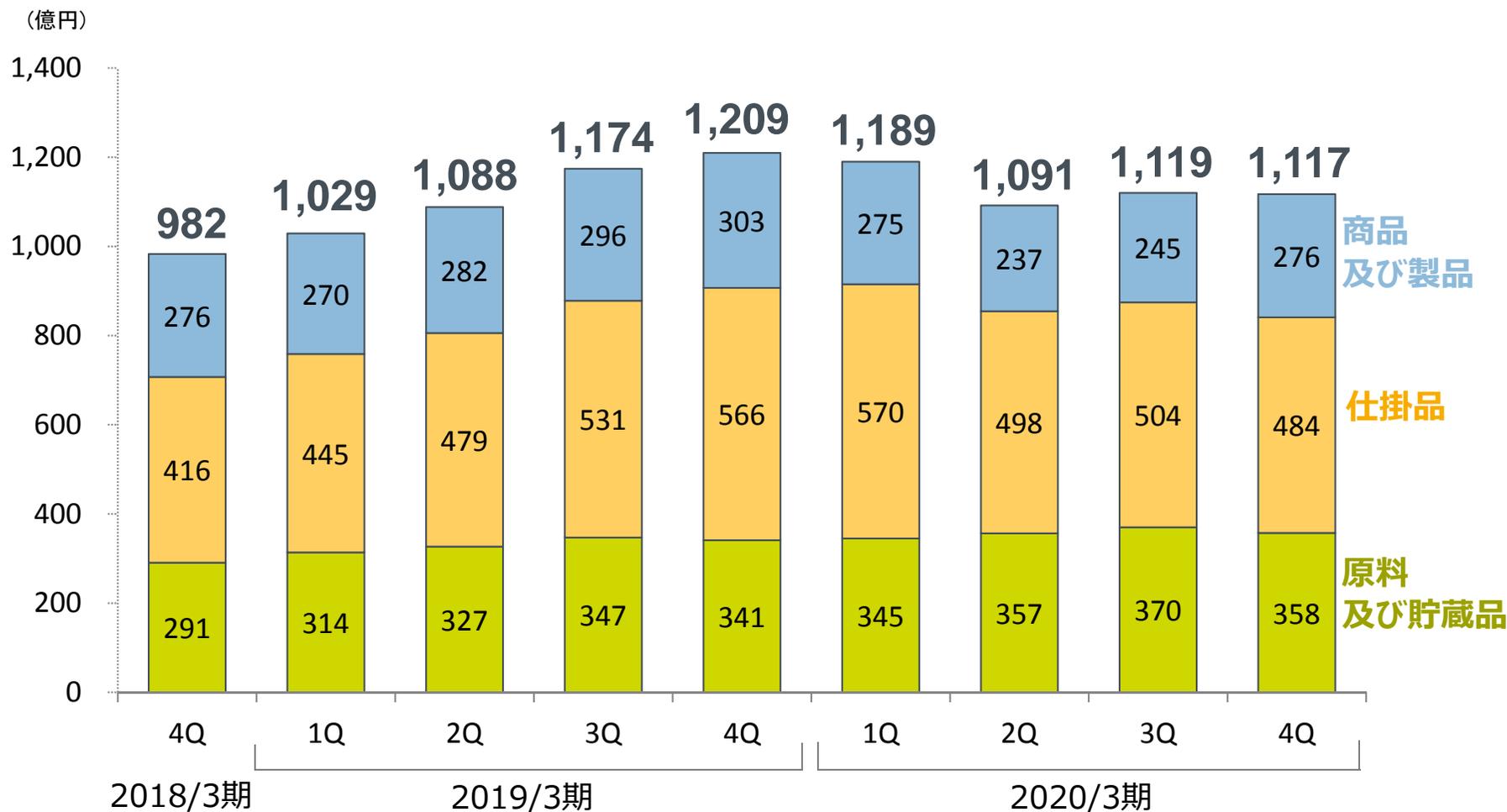
設備投資の推移



# 在庫の状況 (金額)



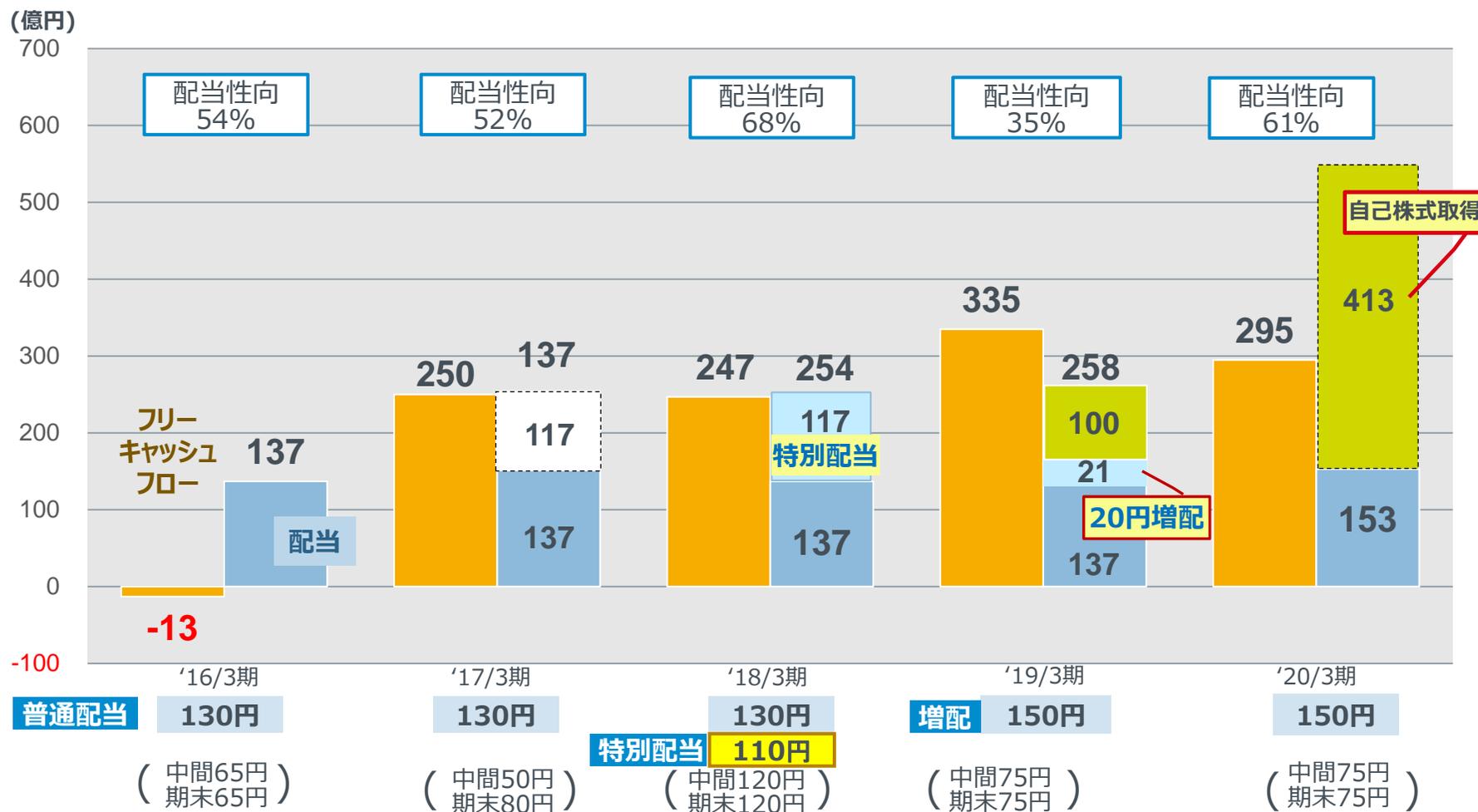
## 棚卸資産推移



# 株主還元 (フリーキャッシュフローと株主還元の推移)



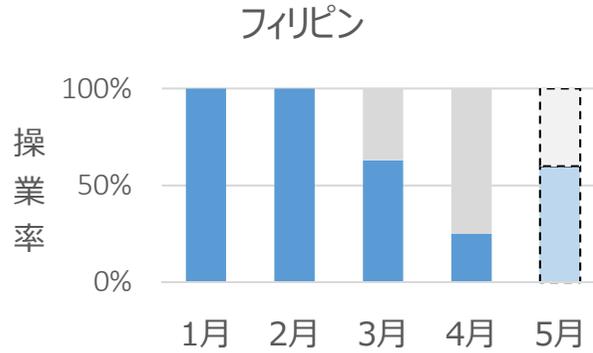
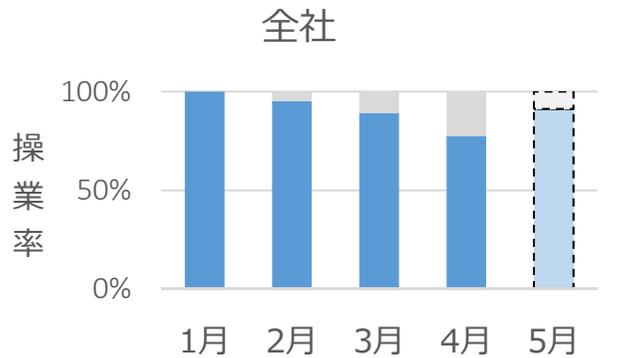
- ①今後の政策保有株の縮減、②現在の株式市場の動向、③中長期業績見通し上記を総合的に考慮し、自社株買いを実施。
- 従来からの財務政策、株主還元策については、変更なし。  
(事業成長の為の積極投資、連結配当性向30%以上、極力減配を避けるなど)



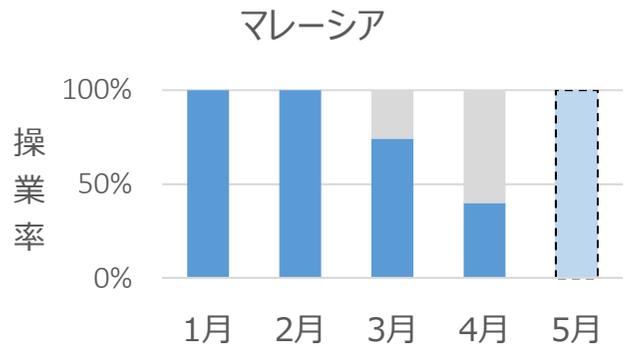
# 新型コロナウイルス感染拡大の影響（ロームグループにおける状況）



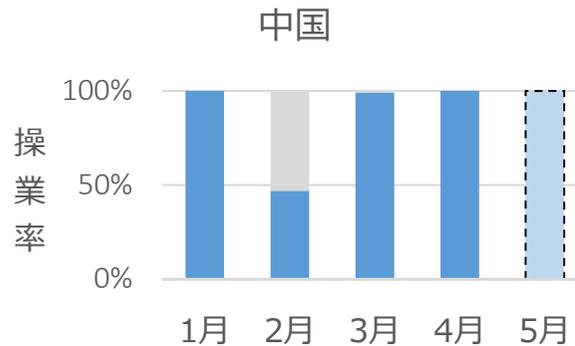
## ■ロームグループ拠点の生産品目と稼働状況（後工程）



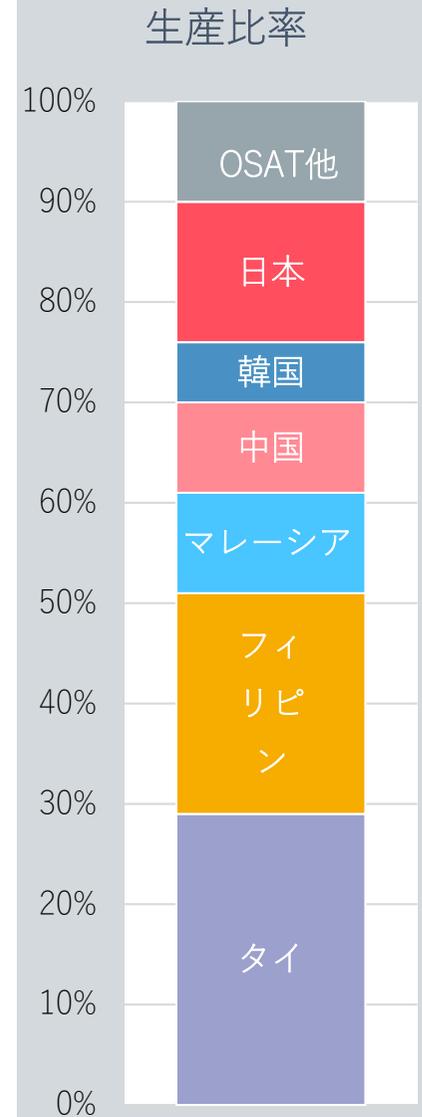
3月17日 稼働縮小  
 4月 2日 感染者一名発生、稼働停止  
 4月 5日 稼働一部再開



3月17日 稼働縮小



2月 1日 春節後の稼働再開延期  
 2月16日 一部稼働再開  
 3月 4日 通常稼働に復帰



# 新型コロナウイルス感染拡大の影響（防疫体制等）



## 防疫対策例

項目	該当拠点
入社時の検温、発熱時自宅待機	全拠点
在宅勤務、時差出勤等	営業管理全部門対象、 その他は業務内容により判断
学校の休校等に伴う出勤困難者への特別休暇	国内各拠点
車両通勤特別許可	本社
国内外の出張禁止、帰国従業員の自宅待機、接待禁止、会議の縮小等	全拠点
食堂ほかレイアウト変更、主要個所定期消毒等	全拠点
従業員に対する、マスク配布、外出自粛要請等	全拠点

## お客様に対する供給維持対策

項目	内容	該当拠点
代替工場等への生産移管	稼働縮小、一時停止に対応して一部の機種を ROOMグループ他拠点及びOSATに移管	天津、大連、フィリピン、 マレーシア
航空便減便に対応して 物流ルートを確認	減便で限られた貨物のキャパを優先して確保等	全ROOMグループ
在宅勤務・テレワーク等による 業務継続	リモートアクセス化やテレビ会議、ITツールの活用	全ROOMグループ

## ロームの戦略は変更なし。

### 地域別

#### 中国

成長を見込める中国の車載・産機市場への開発・拡販を継続

- ・中国EV市場(インバータ、DC/DC)にデザインインを推し進める
- ・中国市場のニーズに耐えるコスト競争力強化
- ・産機市場での有力代理店との提携

#### 日本

成長を見込めるパワートレイン・ボディ分野へ拡販強化

#### 欧州 米州

市場、商品を絞ったピンポイント攻撃

- ・自動車OEM、Tier 1 向けに重点拡販

## 製品別 戦略についても変更なし。

<ロームの戦略（昨年秋時点の内容）>

### 重点項目

#### アナログ

- マーケティング強化し、高性能コア技術を進め、**汎用ASSP商品**を軸に「アナログパワー」でのトップブランドを目指す

#### パワー

- 顧客目線の**ソリューション提案**
- 車両の電動化に伴ない  
需要が爆発的に伸びる車載パワートレイン分野の新商品を拡充
- 機器の**省エネに貢献する高効率のパワーデバイス**  
(SiC第4世代、Si-MOS第6世代)をリリース

#### スタンダード プロダクツ

- 成長する**車載市場・中国市場**を軸に、  
供給力、信頼性、コスト競争力を武器にシェアを拡大する

#### シナジー

- ソリューション提案によって、顧客の課題を直接的に解決する。
- **FAEと営業が一体**となって提案することで新商品を一気に拡販する

## 高性能汎用ASSPを軸に商品開発を進める。

特徴あるオリジナル プロセス・回路技術を強みに商品展開



### 電源

#### 汎用ASSP展開を強化

ADAS・LEDランプ用途を中心に商品展開を拡大

#### 電源コア技術の強化・共通化

高耐圧・大電流の商品ラインアップの拡充

### モータ

#### モータ制御(マイコン搭載)を特徴とした商品展開

低耐圧から高耐圧まで分野拡大

#### 48V仕様商品ラインアップ<sup>o</sup>の拡充

基地局・サーバー・家電・車載機器向けへの商品展開

### 汎用

#### 高性能化／オリジナル機能による差別化商品の開発に注力

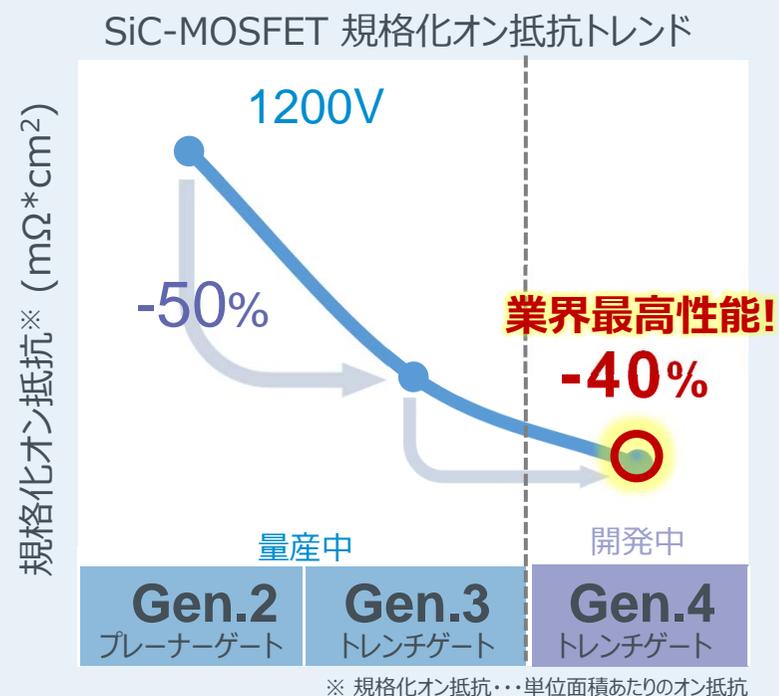
耐ノイズオペアンプ(EMARMOUR™)

低容量Cap対応LDO (Nano Cap™)

新世代IPDの車載製品ラインアップの拡充

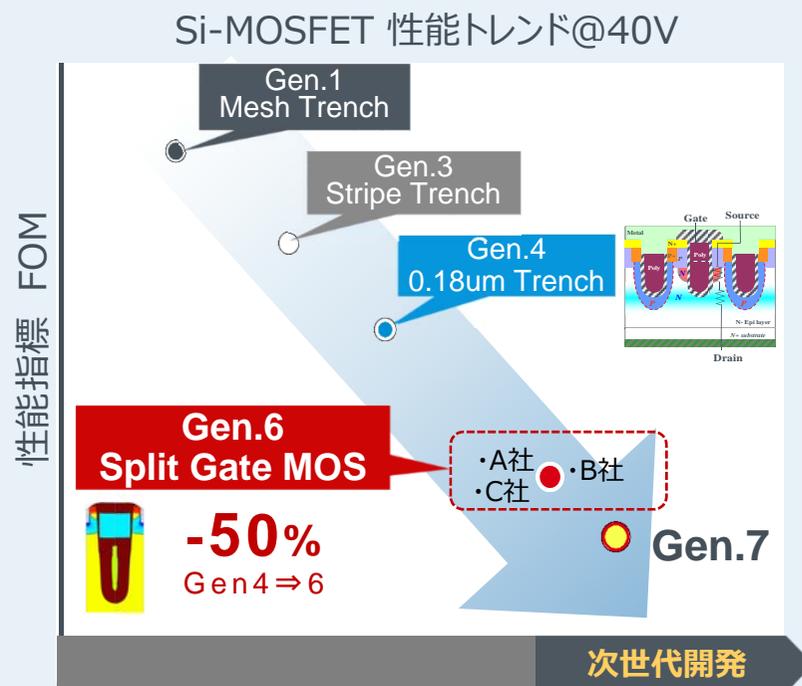
## 高耐圧SiC-MOSFETに加え、低耐圧Si-MOSFETのラインアップ強化により、 車載市場における製品カバー率を向上

### SiC-MOSFET



- 業界TOP性能・コスト競争力、生産能力増強
- xEV関連顧客引き合い**30社以上**  
サンプル供給開始、2020年2Q量産開始

### Si-MOSFET



- Gen.6で性能TOPクラスへキャッチアップ  
2020年4月量産開始
- パッケージラインアップの拡充

## 成長する **車載市場** と **中国市場** を軸に、 供給力、信頼性、コスト競争力を武器にシェアを拡大する

### 小信号個別半導体

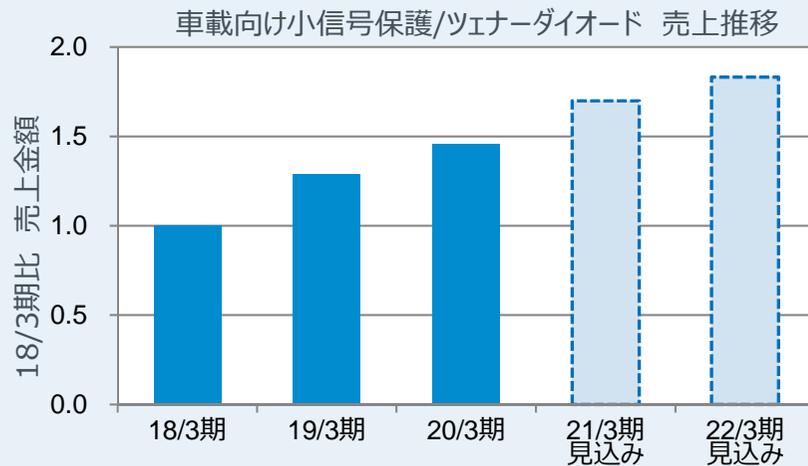
**W/Wシェア 20%以上へ**

【実施事項】

**車載市場**

**汎用ダイオード 世界最大の供給能力へ**

伸びる保護/ツェナーダイオード向け汎用パッケージの内製投資とOSAT拡充による生産能力増強。



**産機市場**

**中華圏5G需要向け  
小信号MOSFET/小信号ダイオードの開発**

### 抵抗

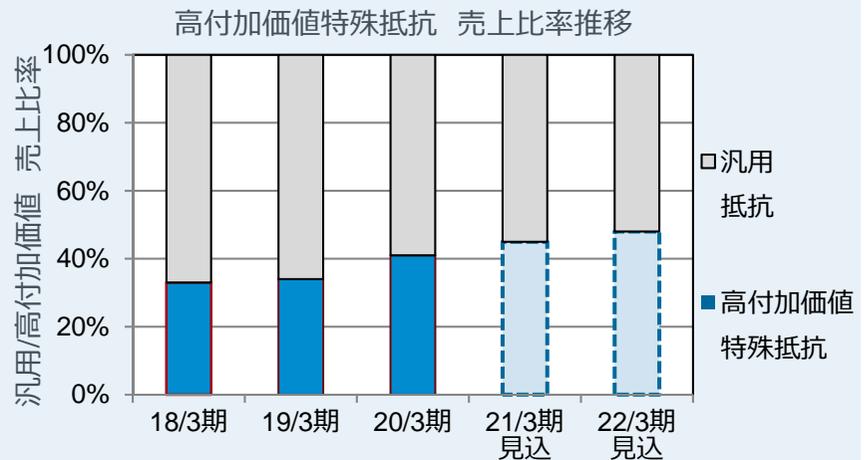
**車載・産機市場で世界No.1**

【実施事項】

**高付加価値特殊抵抗のラインアップ/生産能力強化**

- ・ハイパワーシャント抵抗の拡充
- ・車載向け高信頼製品の拡充  
(耐サージ、高電力、耐硫化品)

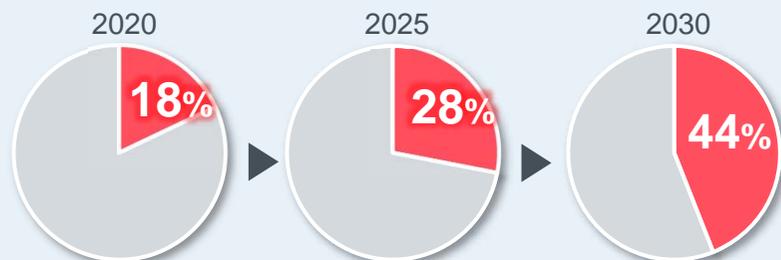
市場での商品カバー率



車載・産機市場を中心に独自技術の強みを活かし、  
マーケットが求める製品をタイムリーに開発

## 車載関連商品

LED売上車載比率 40%以上へ



【実施事項】

国内車載市場

メーター・リアランプ向けにデザインイン開始

【開発商品】

メーター  
向け

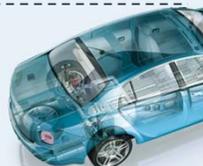
一貫生産による  
光度の合わせ込み



美しいデザインに貢献

リアランプ  
向け

高放熱技術で  
高出力化を実現



高い信頼性でも貢献

## 産機関連商品b

プリントヘッド産機比率 40%以上へ



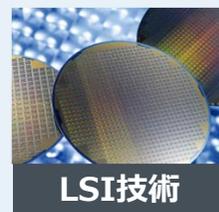
【実施事項】

データコード、バーコード市場への参入

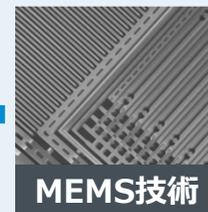
業界最高水準の画質・速度を達成！

- ・データコードシェアトップメーカーにて採用最終評価中
- ・IoT、スマート物流の発展に向けた超高速プリント対応

【開発商品】



LSI技術



MEMS技術



高速・高精細ヘッド

シリコン微細加工技術の融合

## いかなる困難があろうとも顧客への供給責任を果たす

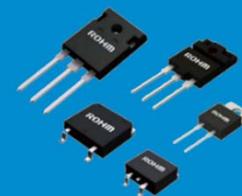
### ■ 組立工程の生産性向上 & 自動化を加速

（人生産性2倍／2020年モデルライン完成予定）



### ■ OSAT\*への生産委託を更に加速

（2022年までに30%以上へ）



OSAT : Outsourced Semiconductor Assembly & Test

## 新型コロナによる想定以上の長期間の減産

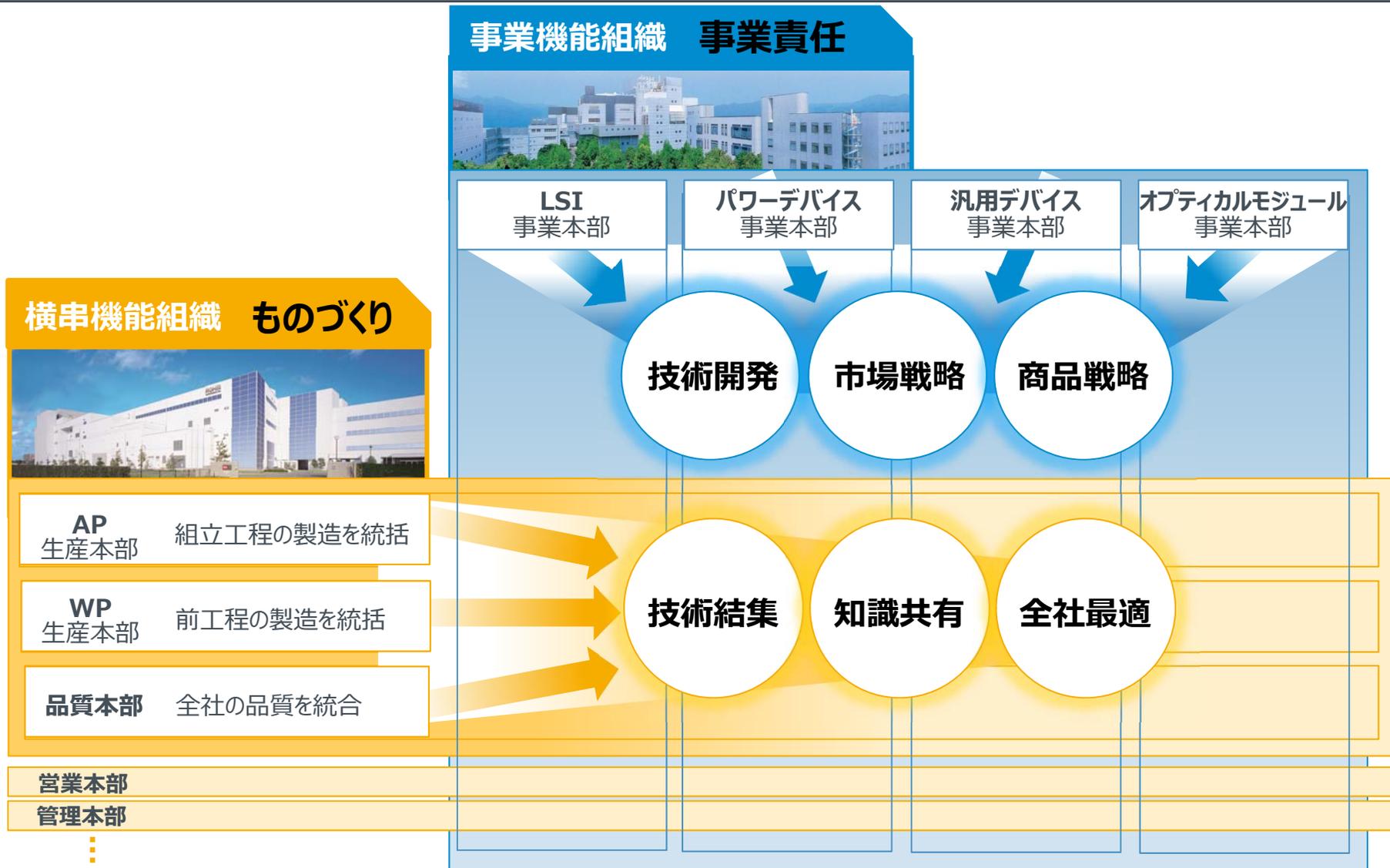
自然災害や経済情勢とは異なるリスク想定が不足



- ①人の移動・密集の制限
- ②発生時期が地域毎に異なり拡散
- ③各国政府による対応策の相違



# 生産統制による最適化



**マトリクス型組織とすることにより、全社の横串機能を強化し、全社最適化を推進する**

## <注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2021年3月期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。
3. 会計基準の改正に伴う変更は、過去のデータには反映しておりません。

## <お問い合わせ先>

ローム株式会社 広報IR室  
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21  
Tel: (075) 311-2121 E-mail: [ir@rohm.co.jp](mailto:ir@rohm.co.jp)

